

## 例3： 「自己紹介の手紙」

作文  
基礎  
中等プログラム 5年

基準	A	B	C	D	E
得たレベル	-	-	5	3	-

### 背景

- 基礎課程では会話、手紙、読み物といったいろいろな形で自分を紹介することを何回も学んだ。また、日本人の訪問客を迎えて自己紹介をする練習も繰り返し行なった。更に、生徒たちは実際に日本のペンパルに日本語と英語で手紙を書き、またその返事も受け取った。そのため、基本的な自己紹介の手紙の構成には十分に慣れている。
- 制限時間は一時間である。
- 生徒は試験監督の下でこの課題に取り組んだ。メモ、辞書、教科書は持ち込み不可である。テーマは試験前には生徒には知らされていない。
- この課題は基準C及び基準D内で評価してある。
- 問題は試験用紙の上部に書かれている。作文の必要最低字数は300字である。

### 評価

#### 基準C 内容と構成

最高レベル8

この作品がレベル5を得た理由は以下の通りである。

- 年齢、学年、家族、趣味、自分の町といった広い範囲の事柄を述べている。
- 筋道を立てて書こうとしている。正しい手紙の形式で書いている。
- 接続詞が一回しか使われていない。
- 内容はテーマに沿っているが、理由付けがなく詳細さに欠ける。

以下の項目が習得できていれば同生徒はより高いレベルに達したと思われる。

- 絶対量を増やす。作文の必要最低字数は300字である。これだけあればもっと詳細さや理由を加えることができる。
- 全体を通していろいろな接続詞を用いる。

#### 基準D 言語

最高レベル8

この作品がレベル3を得た理由は以下の通りである。

- 正しく平仮名を書いている。
- カタカナの間違が多い。
- 漢字を全く使っていない。
- 初歩的な綴りの間違がある。(例) おかさん、おとさん

例3: 「自己紹介の手紙」

- 綴りが間違っているため理解しにくい部分がある。(例) ここ1ねん、おにさんはだいがっこう、いもうとはちゅがくです。
- 初歩的な語彙と文法事項が使われている。助詞の誤りが多い。
- 文の終わり方が正しくない。(例) 「です。」を使っていない。
- 建築、主婦といった難しい語彙を使っているが、これらは生徒が何回も練習したものであり、使えて当然の語彙である。

## 生徒回答

Q: にほんの こうこうせいに てがみを かいてください。 てがみのなかで、あなた、あなたの かぞく、ともだち、しゅみ、すきなおんがく、そして、あなたの すんでいるところについて しょうかいしてください。(300字)

## Student B

こんにちは。

わたしはジェーンです。16さいで。ここ1ねんです。かぞくにおとさんとおかさんとおにさんといもうと。おとさんはけんちくか、おかさんはしゅふ。おかさんは45さいで、しゃしんをすきです。おとさんは45さい、ゴルフをすきです。おにさんはだいがっこ、いもうとはちゅがくです。わたしのともだちはたくさんです。わたしはともだちをすき。わたしのしゅみはほん。おんがくはすきです。そして、エルトンジョンをすきです。サクラマントにすんでいます。ちいさいとしです。てがみをかいてください。

ジェーンより